

26春闘行動 3.13千代田総行動を実施

大幅賃上げ、消費税減税で物価高対策、最賃2000円、年金増額
医療・介護の崩壊阻止、労働時間規制緩和反対、大軍拡・増税戦争反対で
暮らし、雇用、いのち、平和を守り連帯と労働組合の力で
26春闘要求前進をめざす3.13千代田総行動

区内 5 駅頭、6 か所で早朝宣伝

総行動ビラなど 2500枚配布

3月13日、千代田区春闘共闘は、全国統一行動に合わせて、早朝から、「大幅賃上げ、消費税減税で物価高対策、最賃2000円、年金増額、医療・介護の崩壊阻止、労働時間規制緩和反対、大軍拡・増税、戦争反対で暮らし、雇用、いのち、平和を守り、連帯と労働組合の力で26春闘要求前進」を掲げて3.13千代田総行動を実施しました。

朝7時半から9時の間で総行動チラシ(見出し:物価高を超える大幅賃上げを 企業は内部留保を吐き出せ 最賃2000円、消費税減税、年金増額、医療・介護崩壊阻止 労働時間規制緩和反対、大軍拡・増税・戦争反対、26春闘要求の前進を)とケア労働者の賃上げ・処遇改善のチラシを神田駅北口と南口、九段下駅、市ヶ谷駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅の区内5駅頭、6か所で24人の参加、合計2500枚を配布しました。早朝、天気が心配されましたが、雨が降らず、駅利用者にテッシュに入れたチラシを受け取ってもらいました。



神田駅南口での宣伝 全国一般東京地本の方々



戦争反対、平和の要求を掲げて行進

本の街神保町を昼休みデモ行進

昼休みには、神保町昼休みデモを MIC(日本マスコミ文化情報労組共闘会議)と千代田区春闘共闘で行いました。

デモ出発前、MIC・西村議長は、「26春闘の最中のデモである。とにかく、今春闘では、大幅賃上げである。政府は、物価高対策と言うが、実質賃金はマイナスが続いている。そして、アメリカのイラン侵攻によって、ガソリン価格が高騰し、物価高が続いている。労働条件は、

改善されていない。ハラスメントに苦しみ、劣悪な労働環境のもとで働いている。非正規労働者も大変、一緒にたたかっているといけぬ。労働組合の役割だ。平和の問題では、労働者の生活がかかっているので取り組む必要がある。アメリカ・イスラエルのイラン攻撃で、イランの市民の命だけでなく、日本の労働者の生活、賃上げ交渉にも影響が出ている。日本政府は、アメリカなどに任せ、モノが言えないのか。はっきり、止めるべきだと言うことが重要だ。そして、日本の防衛予算が 9 兆円以上に増えている。今、国民の生活にこの防衛予算を使えば、生活をよくできるのではないか。改憲も行う姿勢を高市首相は、見せているが、武力で平和は守れないと思う。今日のデモ行進で訴えていこう」と挨拶。



要求を掲げて行進する参加者

東京地評・矢吹議長は、「春闘の山場で統一行動を行っている。賃上げ回答は、春闘共闘では、昨年より高い水準でスタートしている。大手のところでは満額回答となっているが、それでも物価高の中での生活改善にはつながっていない。中小企業、ケア労働者のところで、大幅賃上げが求められている。アメリカのイラン侵攻は、賃上げ交渉にも影響がでるのではないか。

莫大にため込んだ大企業の内部留保を吐き出させ、中小企業が価格転嫁などできるようにしないとイケない。すべての労働者の賃上げが必要だ。戦争の影響を受けて、日本経済も不安定になっている。国会で予

算審議が行われているが、国民生活のための予算審議は行われていない。戦争準備の軍拡予算には反対だ。国民の生活改善に予算を使ってほしいと要求を掲げてデモ行進を行おう」と挨拶。

千代田区春闘共闘・茂呂議長は、「千代田区春闘共闘は、25 春闘要求、物価高を上回る大幅賃上げ、労基法解体反対などを掲げて今日一行動を行っている。本当に物価高で大変だ。」と挨拶。

神保町昼休みデモは、12時20分に錦華公園を出発。

靖国通り→神保町交差点→九段下租橋児童遊園まで、宣伝カーからの訴え、シュプレヒコールを行い、参加者はプラカードを掲げて、元気よく行進しました。参加者は、全体で70名でした。



神保町昼休みデモ行進

お茶の水駅頭 消費税減税、軍拡、改憲、戦争反対で宣伝行動

14 時半からは、お茶の水駅頭で消費税減税、軍拡、改憲、戦争反対で宣伝行動を行いました。
10名でアピールし、署名を訴えました。消費税減税に関する訴えは、下記の通りです。



お茶の水駅頭 消費税減税、軍拡、改憲、戦争反対でアピール

先日の衆議院議員選挙では、「消費税の減税」が大きな争点の一つになりました。物価高対策として多くの政党が消費税の減税を掲げ、これまで反対していた自民・公明の両党でさえ、消費税減税を公約しなければならなくなったことは、国民の世論と運動が政治を動かした大きな成果です。

皆さん、総選挙では自民党が大勝し、高市首相は選挙後に「(消費税減税を)やった方がいいと確信している」と発言しています。国民への約束を守り、消費税減税の実現に踏み出すことが求められています。

しかし、皆さん与党の「2 年間の食料品ゼロ」という減税案では、効果は限定的で物価高対策としては不十分です。物価高や実質賃金の低迷、中小企業の経営環境の厳しさは 2 年間だけでは解決できません。食料品に限定した消費税率引き下げには、大きな問題点があります。それは、外食を中心とした飲食店に大きな負担を強いるということです。食料品のみゼロ%になった場合、飲食店は仕入れにかかる消費税が控除できず、納める消費税額が増えます。いまでも過去最多の倒産件数を更新している外食業界に重い消費

税負担と複雑な事務負担が課されることとなります。

さらに 2 年後に 8% に税率を戻せば、過去の増税時と同様、日本経済に大きな打撃になりかねません。消費税減税は制度を複雑化させる軽減税率を増やすのではなく、期限を切らない一律減税によって実行されるべきです。一律減税で税率を 5% にすれば、小規模事業者やフリーランスに大きな負担を与え、値引きの強要や取引排除などの要因となっているインボイス制度も不要となります。

政府は 2 割特例や 8 割控除の経過措置を縮小したうえで延長しようとしていますが、問われているのは「インボイス制度そのものが中小事業者にとって過大な負担である」という根本的な問題です。

日本商工会議所等の調査では、インボイス登録後、約半数の事業者がコスト増を実感し、7 割以上が事務負担の増加を訴えています。価格転嫁ができずに事業者自身が消費税分を負担しているケースも多いことから、インボイス制度の廃止を求める声が高まっています。

国際的に見ても、消費税・付加価値税の軽減・減税措置は広がっています。ベトナムは付加価値税を 10% から 8% に引き下げ、2026 年末まで延長しました。タイは 7% で据え置き、インドも日用品などの税率を引き下げています。OECD 報告でも欧州各国が生活必需品の軽減税率を維持・拡大しています。消費税減税は国際的にも大きな流れで、106 の国と地域に広がっています。

皆さん、各党が総選挙で掲げた政策の実現を迫っていくのは国民の



「一刻も早く消費税減税を」と求めてアピール

世論と運動です。消費税の食料品だけを一時的にゼロにするだけでなく、一律で 5%に引き下げ、廃止をめざす。インボイス制度は撤廃する。このことこそ、暮らしと地域経済を守る確かな政策です。私たちはそのための国会請願署名を全国で集めています。皆さんの一筆が政治を動かします。

消費税減税とインボイス廃止で、暮らしと営業を守りましょう。どうか署名へのご協力をお願いします。



フードパントリー@ちよだ2回目

(取り組み報告)

3月13日、16時から新三崎橋横で、「フードパントリー@ちよだ」は労働組合でつくる「千代田区春闘共闘委員会」との共催で、フードバンクと生活・労働相談活動に取り組みました。

フードパントリー@ちよだと千代田区春闘共闘委員会は、今回の取り組みを通じて、在住、在勤、在学者の生活実態について掴み、今後千代田総行動などを通じ区、国へ対策を要望していくためにアウトリーチ活動として取り組みました。

当日は、開始前から行列ができ、45人の利用がありました。事前にポスティングしたチラシを見て利用された方。Xの投稿を見て利用された方も複数名いらっしゃいました。利用者が想定を上回り、配布出来ずお帰り頂いた方も生まれてしまいました。また、終了後、区労協事務所に寄られた方もいらっしゃいました。



★利用者へ行ったアンケートで出された声を紹介します。

○物価高の暮らしへの影響

- ・食べるものが食べられない ・食料は半額ねらいで買いに行く。
- ・安いものしか食べることができません。ここ数年外食もできません。
- ・おにぎり 200 円、パンも 150 円、カップラーメン 300 円、高すぎますね。
- ・高くて大変。備蓄米もなくなった。豊作でも安くならない。
- ・高すぎる。一週間のものを買うのも大変。月 1 万円くらいしか使えない。医者も金がかかる。人の物をとるわけにもいかない。

○物価高騰対策で国、都、区にやってほしい事

- ・消費税を下げしてほしい。 ・減税より現金給付です。 ・給付金にとりくんでほしい。
- ・生活困窮者にはまず、給付金をだして。 ・もっと早く決めてくれ、消費税減税を。

収支
報告

収入:寄せられたカンパ	32,000 円
前回からの繰り越し	10,972 円
支出:ビラ印刷	2,400 円
資材購入	10,191 円
食材購入	29,080 円
残 1,301 円 今後への繰り越し	

その他、千代田区労協からコメ30キロカンパしていただきました。

ご協力いただいたみなさんありがとうございました。



時間開始前から並ぶ人々

千代田総行動全体では、延べ132人の参加、チラシは、3000枚を配布しました。

(編集:千代田区労協事務局長 小林秀治)

※ 皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

※ 千代田区労協通信バックナンバー

http://www.chyda-kr.org/kuroukyo_u_news2023.htm

千代田区春闘共闘労働学校

★26年第2回 2026年3月27日(金)

ビジネスと人権 講師:筒井 晴彦(労働者教育協会理事)

国連は、国境をこえる経済活動の隆盛と相まって「ビジネスと人権に関する指導原則」を定め、人権および基本的自由の尊重、人権侵害の救済などの義務を国や企業に求めています。いま日本に求められている取り組みについて一緒に学び考えませんか？

時間:18時30分開始 参加費:無料 どなたでも参加できます。

場所:千代田区労協事務所(水道橋駅前)

【タイムテーブル】

18:30~開校のあいさつ(5分)

18:35~労働組合よもや話、ユニオンちよだからの報告

19:00~講義(60分)

20:00~質疑(20分)

20:20 終了

★その後、その場で交流会(1000円会費)

【参加申し込み先】

〒101-0061

千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル2階

Tel:03-3264-2905

Mail:chiyodakurokyo@gmail.com

chiyororen@yahoo.co.jp